



2023年11月

ビジネス・イノベーション研究所 兼任研究員 活動報告

(1) 奥野 明子

●【子連れMBA ゼミ公開トーク】

「働きやすさのカギは自己決定だった！ ワーママ論文プロジェクトの舞台裏」
に登壇しました。

【開催日】2023年11月4日（土）

【場所】大阪公立大学 文化交流センター／オンライン配信同時開催

プログラム内容

- ・論文の背景: 問題意識・調査方法の概要
- ・論文発表: 大阪と東京のワーキングマザーの働きやすさの違い
- ・論文執筆の振り返り: 執筆プロセスの紹介、論文の魅力、MBA と経営学の違いの考察

<主催：子連れMBA Powered by 一般社団法人ぶちでガチ 共催：甲南大学BI研究所>

[子連れMBA ゼミ公開トーク | 11/4 14:00～ 働きやすさのカギは自己決定だった！ ワーママ論文PJの舞台裏](#)



子連れMBA
MBA of Practical All

【無料イベント】子連れMBAゼミ公開トーク

働きやすさのカギは 自己決定だった！

論文発表:
大阪と東京のワーキングマザーの働きやすさの違い

11.4 (土) 14:00～15:30
@大阪公立大学 文化交流センター (梅田)
※Youtubeにてオンライン配信同時開催予定

メンバーコミュニティ
奥野先生とメンバーが
「年間取り組んだ
ベテアプロジェクト」

舞台裏
ワーママ論文
プロジェクトの

主催：子連れMBA Powered by 一般社団法人ぶちでガチ 共催：甲南大学BI研究所

●京都女子大学現代社会学部 講演会

『社会における女性活躍 テーマ：自分のキャリアを考えよう』に登壇しました。

【開催日】2023年11月29日(水)

【場所】京都女子大学E校舎

京都女子大学現代社会学部の講演会『社会における女性活躍 テーマ：自分のキャリアを考えよう』において、「女性労働とダイバーシティ」というテーマで講演しました。日本の女性労働の特徴を説明し、これから社会に出る女性のより良い働き方のヒントを提供しました。

京都女子大学現代社会学部 講演会

社会における女性活躍

参加無料
11.29 水
13:00~15:00
E校舎 004

テーマ
自分のキャリアを考えよう

現代社会学部の学生を対象に、自身のキャリアを考える講演会を開催します。女性起業家、女性のキャリア形成を専門とする研究者をお招きして、より広い視野から、キャリア形成をとらえるにはどうすればいいのかが、経験や研究成果などをもとにお話しいただきます。大手企業の人事採用担当者からは、自らの選考に関するアドバイスもいただきます。将来について憂鬱とした不安を抱えている学生の皆さんは、是非ご参加してみてください。

企画・司会：現代社会学部 准教授 江内 敏

講師	赤坂 美保 様 (船業家)	プログラム
<p>京畿出身。国内外7社で海外営業やMBAなどがフィナンシャル、経営企画に就任。家業向けインバウンド観光事業を起業。15社計上。中小企業診断士、協賛ファイナリスト、一般社団法人ぶちでぶち(子連れMBA派遣会社)代表理事。株式会社おやかか(2019年創設)。</p>	<p>13:00~13:50 赤坂 美保 様</p> <p>『自分のキャリアは自分でつくれる』</p> <ul style="list-style-type: none"> 世の中が大きく変わる今、変化の激しい世の中にも様々な選択や道徳が求められます。そんな今だからこそできる、自分の進むキャリアをつくるためのヒントをお話しします。 	
<p>13:50~14:00 休憩</p>	<p>14:00~14:25 奥野 明子 様</p> <p>『女性労働とダイバーシティ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の女性労働の特徴を説明し、これから社会に出る女性のより良い働き方のヒントを提供する。 	
<p>講師 奥野 明子 様 (甲南大学教授)</p> <p>甲南大学経営学部教授。誰もが働きやすい企業になるための人事戦略、働き方、家庭のあり方などに関する研究。高校生、大学生の母親と兼業。子連れMBA(小さな一歩から、自分を切り盛り社会で活躍の準備)を運営する一般社団法人ぶちでぶち理事。</p>	<p>14:25~14:45 武田 麗 様</p> <p>『自己分析を通じて、学生側・採用担当者両方の視点を知ろう!』</p> <p>14:45~15:00 会場にてフリーストーク</p>	
<p>講師 日本生命保険相互会社 武田 麗 様</p> <p>2011年日本生命卒大入社。3年課長人事職を歴任し4年主任大入社。2年目の専任に就任。専任は子育てをしながら法人営業専門や人事部門(採用業務)に就任。</p>		



●西村順二所長が、スイーツなマーケティング論公開講座をコーディネート、ファシリテータを務めました。

【開催日】2023年11月16日(木)

【場所】甲南大学ネットワークキャンパス東京

西村順二所長がコーディネートを行い、神戸の老舗ベーカリー「ケルン」の壺井代表をお招きし、SDGsの実現を目指して実践されている同社の「ツナグパン」に関するお話をお聞きしました。地域における関係者による循環型経済のモデル事業として、社会的課題解決の重要性を参加者が学ぶ機会となりました。なお、この公開講座の記事が翌日の神戸新聞に掲載されています。

[パン作りを通じた社会貢献とは 老舗ベーカリー「ケルン」社長が東京で講演 | 経済 | ひょうご経済+ | 神戸新聞 NEXT](#)

kobe-np.co.jp

甲南大学公開講座
甲南大学ビジネスイノベーション研究所第38回研究会

スイーツなマーケティング論

パンの魅力、その可能性の追求：神戸の老舗ベーカリーの試み



＜講師＞
株式会社ケルン 代表取締役
壺井 康夫

＜ファシリテーター＞
甲南大学 ビジネスイノベーション研究所 所長
西村 順二 氏

＜日 時＞2023年11月16日(木)13:30～15:30
＜受講料＞無料
＜開催方法＞ハイブリッド型(対面もしくはオンライン)
＜対面ご参加の会場＞甲南大学ネットワークキャンパス東京事務所
※会場が神戸のキャンパスではないためお申し込みの際に注意ください。
※甲南大学ネットワークキャンパス(東京事務所)にて受講する方がお得です。
ご自宅からZoomで受講する方はオンラインにてお申し込みいただけます。



甲南大学公開講座
甲南大学ビジネスイノベーション研究所第38回研究会

スイーツなマーケティング論

パンの魅力、その可能性の追求：神戸の老舗ベーカリーの試み

現代社会では、SDGsやサステナビリティに代表されるように、多くの組織において社会課題の解決が求められ、経営課題の実現だけでなく、社会課題を解決することへの貢献も当然のこととなっています。食料品業界においては、AIやITによる機械化や自動化(DX)が進む一方で、健康・安全・安心志向や環境負荷削減に基づく製品提案も求められています。

今回お話を伺う1946年創業の神戸の老舗ベーカリー「ケルン(KOLN)」の代表取締役・壺井康夫氏は、ドイツバイロイト郡にあるベーカリー「Bäckerei & Konditorei Imhofen-Philharmoniebackwaren」のベッカーマイスターに就任し、ドイツのパン技術を、要にはドイツの文化を学び、職人技術を大空にしたいパン作りを実現してきました。

また、2021年12月には食品廃棄ロス削減と社会的弱者の貧困を解決する経済循環型のパンの販売システム「ツナグパン」をスタート、パン作りを通して社会との繋がりはどの様なものなのか、それを如何にして実現されているのか、その思いの原点はどこにあるのか、本学ビジネスイノベーション研究所長の西村順二教授がお話を伺います。壺井康夫さんと思いを感じられる機会をしたいと思います。



- 開催日時：2023年11月16日(木)13:30～15:30
- 参 課 料：無 料
- 開催方法：ハイブリッド型(対面もしくはオンライン)
- 定 員：対面方式は先着30名、オンライン方式は定員100名
- 対面ご参加の場合の会場：甲南大学ネットワークキャンパス東京事務所

★対面ご参加の場合の会場アクセス★

＜申し込み方法＞
以下のURLもしくはQRコードよりお申し込みください。
<https://www.konan-u.ac.jp/hp/redirect/in/tokyo-2023.html>



申込受付期間：2023年10月1日(日)～11月5日(日)

甲南大学 国際都市・神戸にあるミディアムサイズの総合大学
1946年に創立された甲南学園を母体とする甲南大学。学園創立者・甲南義三氏が抱いた教育理念「各人の天賦の特性を伸ばさせる人間教育(甲南)」は今日まで継ぎつぎ受け継がれ、経済界をはじめ各所で活躍する卒業生を輩出してまいりました。人文・自然・社会科学の学問分野の応えりと「ミディアムサイズの総合大学」の社会を生かした教育で、創成を成した人物教育を創成していきます。

お問い合わせ先 甲南大学ネットワークキャンパス東京事務所
TEL:078-8080 東京センター内601号室(平日9時～17時)または東京センター
E-mail: tsukagawa@konan-u.ac.jp / TEL: 03-6266-9526





(3) 北居 明

- 日本キャリアカウンセリング学会第28回研究大会に参加しました。

【開催日】2023年11月26日（日）

【場所】帝京平成大学池袋キャンパス

4年ぶりの対面での開催となり、吉田克利氏と共同で研究した「上司の解決志向と部下のワーク・エンゲイジメントの関係 ―上司の共感的態度の調整効果に着目して―」について発表しました。

以上